

水ノ際架設交通ノ便ヲ計ルモノトス

長三間、中六尺五寸、此件お十二坪（架設期間 自大正十四年十月日 至大正十五年四月三日）六月

内訳

種目	材料	厚中	長	数量	單價	合計	附記
杭木	松	四寸	九尺	十六本	一五〇	二四〇〇	
梁木	松	四寸	七尺	八本	一〇〇	八〇〇	
渡木	杉	五寸	三間	十二本	六五〇	七八〇〇	
敷板	桤	厚中	六尺	九十枚	一五〇	一三五〇〇	
石垣	大石			陸拾合	二〇〇	三四〇〇	
釘				陸拾合	一〇〇	一五〇	
大工				二人	三〇〇	六〇〇	
人夫				三〇人	二〇〇	六〇〇〇	橋臺築き立テ、枘等々、橋引物等々
計						三四六五〇	

附記

工費豫算

一 五 土 壘 阡 圓

内訳

一 五 七 拾 圓

一 五 九 百 圓

一 五 参 拾 圓

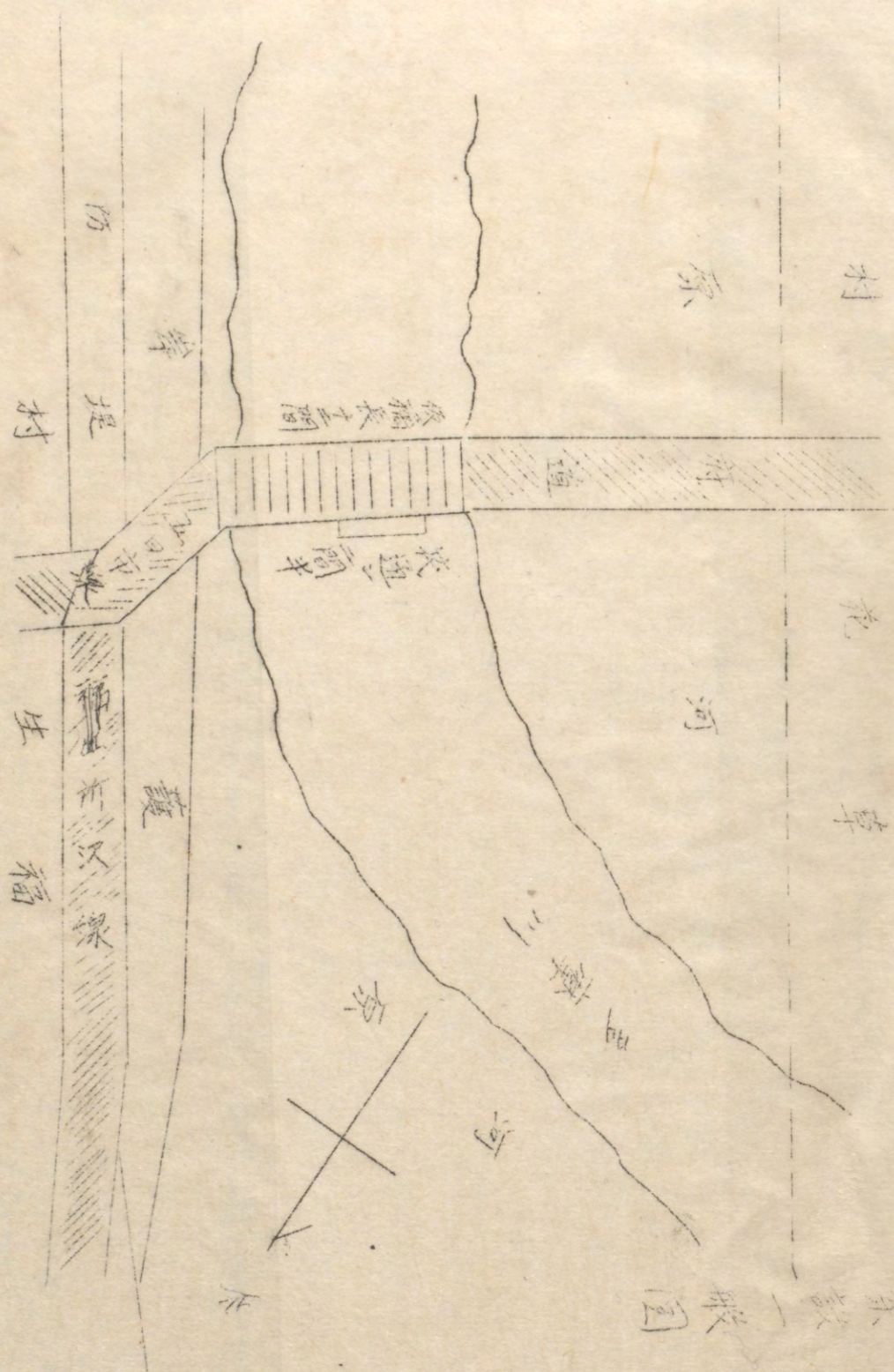
右工事費水量多キトキハ渡船ニ依リ減水ノトキハ役橋架橋
コトトおセリ

渡船ニ艘修繕 別紙仕訳書通

役橋架橋及修繕 別紙設計仕訳書通

渡船架着工事費 別紙設計書通

夜橋梁鼓一戰園



渡船繼續許可申請

一河川名称

多摩川

一路線名称

府道第九十五號五日市所澤線

一渡船場位置

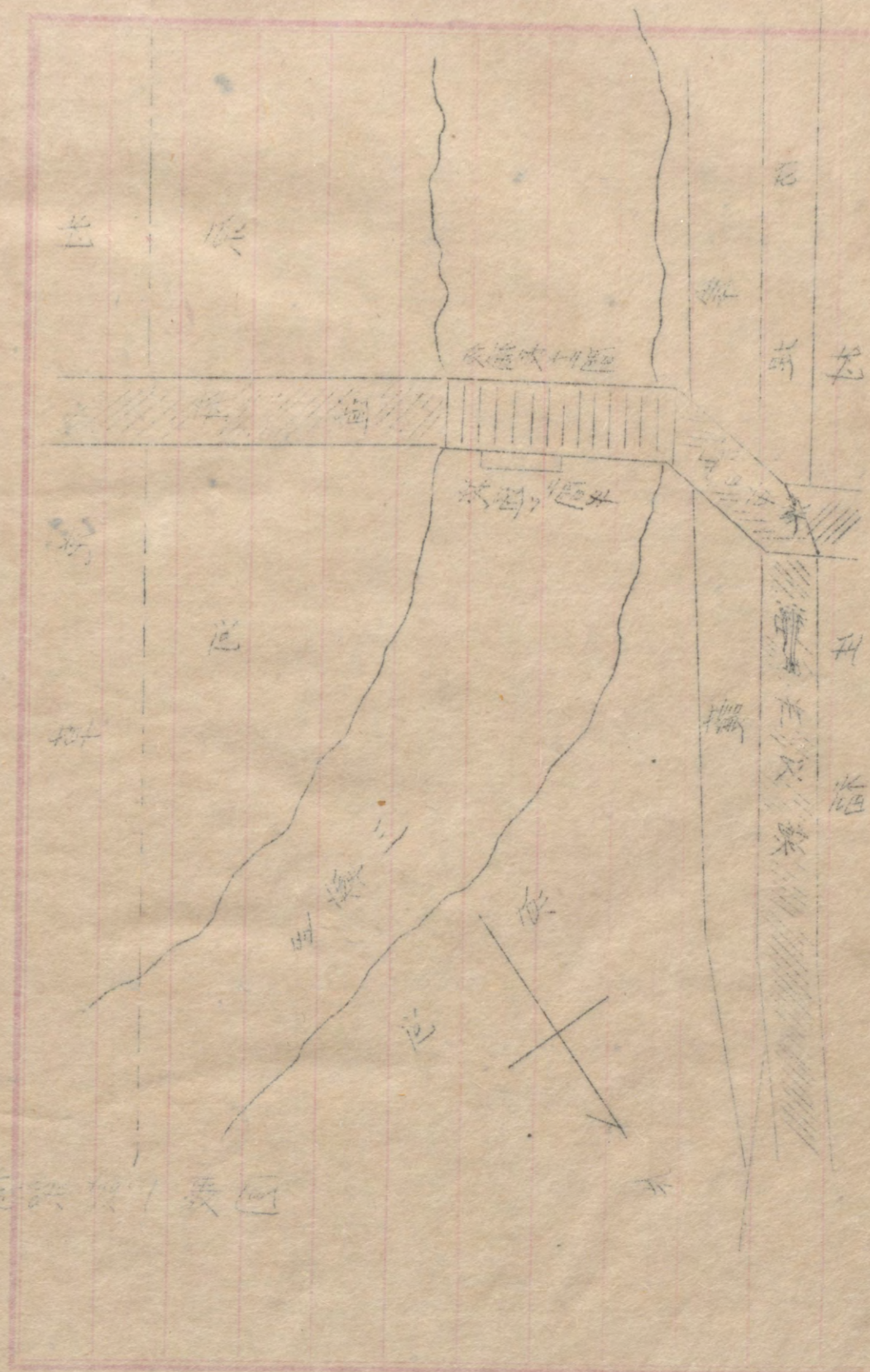
自福生村字原三十二百三十三番地先
至多摩村字原三十四百七番地先

一前渡船許可書寫別紙ノ通

右渡船ハ從來福生村名義ヲ以テ許可ヲ得來リ候處大正十四年
六月三十日ヲ次テ期間満了ニ相成候ニ付更ニ向テ五ヶ年間續
續致度美間道路法第二十六條ニ基キ大正九年以内省令ヲ二
十三號渡船場設置ニ關スル規程ニ依リ別紙書數添付セ
ル中法也

大正十四年八月 日

西多摩郡福生村熊川村組合長森田退藏



東宮府知事宇佐義勝丈殿

添付圖面及書類

一、地形圖(大正十四年四月二十五日福生第三三〇部申請書添付上同)

様式有る

別紙一通

二、渡船場位置圖(令)

上別紙一通

三、役橋架設一般圖

別紙一通

四、工事豫算書

五、收支明細書

六、渡船賃錢表

七、渡船坐收期間

八、元次具銷却年次表

九、工事着手及竣工期間

可但合會決議

第一号議案

福生村渡船賃金ノ件

福生村渡船ハ大正十四年六月三十日ヲ次テ期間満了ニ付

更ニ大正十四年九月三十日マテ賃金スルモノトス

但シ期間中々々減水ノ為渡船困難ノ際ハ役橋ヲ

架橋スルモノトス

大正十四年九月

日提出

西宮府知事福生村長 森田退蔵

西多摩郡福生村北川お合
 大正十四年六月三十日
 西多摩郡福生村北川お合
 大正十四年六月三十日
 西多摩郡福生村北川お合
 大正十四年六月三十日

命令書

西多摩郡福生村北川お合

多摩川沿西多摩郡福生村北川お合
 九千五百路保ヲ接統スル貨取及船切設置ヲ許可スル付本
 命令書ヲ交付ス

第一條 許可ヲ受ケタル者ハ大正十四年六月三十日迄片道左記

法銭ヲ山主收スルコトヲ得

種目 單位 貨銭額 摘 要

十歳以上ノ人 一人 金貳拾

八歳九歳ノ人 一人 金壹拾 七歳以下ハ毛錢

若手力車 一輛 金參銭

若手馬車 一輛 金八銭

人力車 一輛 金貳銭

一輛

金武棧

自働自動車
(車ノミ)

一輛

金參錢

自働車

一輛

金武九郎

牛馬
〔挽子ヲ除ク〕

一
一
一

今考

第二條 許可シテ受ケタル者ハ天災其他不可抗力ニ因ル場合ヲ除クノ外許可シ得ズルテ渡船ヲ停止スルコトヲ得ズ

第三條
許可期間中
行方此に於て
公益上必要と
認めらるる工

事ヲ施行シ又ハ之ヲ諒可スル者ハ渡船ニ降テ害ヲ興ヘ名ハ諒備ヲ致スルコトアル之ヲ拒メツトテ得入

第四條 許可ヲ受ケタル者ハ吊₂交通ノ保全₂注意シ維持修
繕シ急ムヘカラス

第五條 東京府知事ニ於テ必要ト認ムルハ、該縣份ノ海防修繕ニ關スル方法ヲ指定シ之ヲ施行セシムコトトシヘシ

第六條
許可受ける者ハ渡船場ニ記帳する
俾テ市ニ出

計系ヲ明証シ
尙証久ノ要求
ニシテ其檢定

三ノレ

一、收入日計簿

二、經費出納簿

三、之資其帳

四、收入表

五、
紅柳
石
紅

第七條 本命令書ニ基キ、東京府知事ハ右ノニ處分ス。

新可子々々
志々於之
録リス可
我乃ノ方ニ生
元費用ニ總

ラ
ハ
シ
リ
マ
シ
テ
ス
者
ノ
員
擧
ト
ス

第八條 存命石爲_ニ基_キテ、東京府知事ノ告示、慶合_ニ依_リ

許可_レ交_テ免_ル者_ハ於_テ換_ハる_ル費_ハを_レ免_ル其_ノ贈_ハ價_ヲ減_ス

札見より記入

大正四年五月二十日

東京府知事宇佐美勝文

第二号議案

多摩川砂利、砂玉石採掘許可申請之系件

東京府西多摩郡福生村字河第342番32号地内

一、実測面積 三千五百八十坪

此面積五百九十六坪七合（砂利砂採取中より掘出玉石五十三坪採取）

右福生村熊川村組合役場新築工事用及大正四年九月一日
震災ノ為被害ヲ蒙ルル福生村熊川村組合臨時病舎、福生
村小學校之舎、福生村道河橋梁並福生村内一般建築物
ノ復旧ノ事ニ付、他修繕用ニ供スル採掘料ニ付、東京
府知事ニ於テ、通り採掘許可申請スルモノトス

大正四年八月 日

東京府西多摩郡福生村熊川村組合長森田退治

多摩川砂利採取許可申請

東京府西多摩郡福生村立河原三十二番地内

一、実測面積 三十五百八十坪
五十四坪五合

此立積 砂利砂 五百九十六坪七合
九百一坪一合 (砂利採取中より掘出石五坪採取)

一、使用目的

福生村熊川村組合役場新築工事用

但中村式鉄筋コンクリート建築

福生村北川村組合隔離病舎震災被害復旧工事其他修繕用

福生村小學校々舎震災被害復旧工事其他修繕用

福生村道路及橋梁震災被害復旧工事其他修繕用

福生村内一般住宅土倉物置半島助舎、肥料舎木家災

被害復旧工事用其他修繕用

東京府西多摩郡市川本郷台名場

大正十四年十月一日より大正十五年九月三十日まで一ヶ年

大正四年八月日

西多摩郡福生村熊川村位合長森田退翁

東安府知事字佐義徐文殿

砂利、砂、玉石、敷、瓦、油、膏

一、破利、破立積五萬九千七百七十九

但レ砂利破孫雨申ヨリ泥出玉石五立採採取

四
次

一、石刻石百五十一條

福生村 川おき 江戸 新 安子 申

下
令

三
十
年

福至則川石如雪滑難病舍震其被宋纓監中至他修治中

一、五
七

福を
おかせ

一、
令
三
傳

福至而心所招梁

下
九

福至力田一收建業物令上

議案第三號

大正十四年度東京府西多摩郡

福生村

組合歲入支追加豫算

歲

入

一、金參百七拾參圓也。

經常部追加豫筆高

金七拾壹圓九拾五

臨時部追加豫算高

合計金四百四拾四圓九拾五兩

歲

少

金四百四十四圓九拾五兩

經部追加豫筆高

歲入帑羨引殘金十之

[illegible]